



DIVERSITY + INCLUSION

ダイバーシティ&インクルージョン

文部科学省科学技術人材育成費補助事業 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)

女性・若手研究者 キャリアデザインプロジェクト 報告書

第4回
2023

共同研究に関するワークショップ

第4回 女性・若手研究者キャリアデザインプロジェクト
共同研究に関するワークショップ 報告書

目次

ご挨拶	神田 奈緒子 第4回女性・若手研究者キャリアデザインプロジェクト チーフ 山本 昌美 第4回女性・若手研究者キャリアデザインプロジェクト 副チーフ	P1
プロジェクト概要		P2
メンバー		P3
発表と講評	演題一覧	P4
	グループ1 「共役リノール酸を高めた牛肉の生産およびその摂取によるヒト肥満の改善」	P5
	グループ2 「急性ストレス負荷が加齢関連イベントに及ぼす影響の解析ークローン性造血をターゲットした予防医学を目指してー」	P9
	グループ3 「組織スライス培養モデルを用いた免疫チェックポイント阻害薬の新たな効果予測因子/有害事象関連因子の同定」	P14
	グループ4 「不妊・不育症の原因となる自己免疫応答におけるマクロファージ動態のPET イメージングによる可視化」	P16
	グループ5 「ヒト・イヌにおける認知症と性ホルモンに関するトランスレーショナルリサーチ」	P18
総評	植木 美希 日本獣医生命科学大学 ダイバーシティ推進委員会 委員長	P21
資料	開催報告	P22
	プログラム	P25
	募集要項	P26

神田 奈緒子

第4回 女性・若手研究者キャリアデザインプロジェクト チーフ
日本医科大学 千葉北総病院 皮膚科 教授



第4回女性・若手研究者キャリアデザインプロジェクトでは、これまでと形式を大きく変え、共同研究に関するワークショップを開催しました。参加者は4~5名ずつのグループに分かれ、各グループで共同研究の計画を立案し、当日のグループディスカッションでプレゼンテーションの詰めの作業を行い、発表会で各グループの共同研究計画を発表しました。各グループとも、研究者それぞれのスキルを活かした共同研究が立案され、実際に施行していただきたと思う、素晴らしい内容でした。ワークショップの後は懇親会を開催し、異分野の研究者間の交流を深め、両大学の学長と気軽にお話することができました。参加者の事前準備の負担を軽減できた点、異分野の研究者の知識・技術・考え方に触れられた点について、参加者から高い評価をいただきました。基調講演では細谷紀子先生に、サステナブルな医学研究のために必要な研究者の心構えをご講演いただき、各グループの発表に的確な講評を賜り、大変感謝しております。2024年度（第5回）もこの形式を継続し、さらにブラッシュアップしたワークショップを行いたいと考えています。

山本 昌美

第4回 女性・若手研究者キャリアデザインプロジェクト サブチーフ
日本獣医生命科学大学 獣医保健看護学科 准教授



今年で女性・若手研究者キャリアデザインプロジェクトは4回目となりました。複数の施設研究者が集まるプロジェクトですが、立ち上げの年がコロナ禍と重なり、これまでの3回はオンラインでの実施を余儀なくされてきました。これまでの回で、キャリアアップに向けての問題解決、仕事と家庭の両立、研究資金調達へのアプローチなど、広く共通するテーマの研究を、ウェブ会議などでまとめ、発表に臨まれた参加者の方々にはもどかしさやご苦勞もあったかと思えます。

ようやく対面実施が可能となった今回。実際に顔を合わせた討論と作業に重きを置き、それぞれの興味や研究経験が活かせるプログラムにと、共同研究をメインテーマに据えました。子育て中であつたり、時間に余裕がない中で参加してくださった研究者も多かったと思いますが、相談をしながらの準備、参加者全員の前での発表、また基調講演をしてくださった細谷紀子先生や各大学の学長も交えた終了後の懇親など、対面だからこその刺激やつながりも生まれたように思います。今回のプロジェクトがそれぞれ自分のスキルを見直す機会となり、この交流が新しい視点での研究への取り組みにつながることを願っています。

第4回 女性・若手研究者キャリアデザインプロジェクト 共同研究に関するワークショップ 概要

プロジェクトの目的

ようやく対面での交流が可能になった今、本プロジェクトで女性・若手研究者が集い、共同研究について学び、ディスカッションすることで、異なる所属・分野の間で新たな人脈が生まれ、実際の共同研究への種となります。多くの女性・若手研究者が参加し、今後のキャリア形成の一助となることを目的としています。

概要

日時 2023年11月29日(水) 16:00~19:00

会場 日本医科大学 教育棟講堂 (東京都文京区千駄木1丁目1-5)

内容 1.基調講演 講師 細谷紀子先生

「医学におけるライフワークを追い求めて～サステナブルな研究の発展のために～」
東京大学大学院医学系研究科 疾患生命工学センター 放射線分子医学部門 准教授

2.グループワーク テーマ：共同研究

3.発表と質疑・講評

4.懇親会

ワークショップの内容

- ① 募集時にプロジェクト参加希望者は専門分野やスキルなどの情報を提供する
- ② ①を参考に、事務局で各4名程度のグループを作る
- ③ グループは仮想の共同研究テーマを決め、ワークショップまでにおおまかな構想を考える
- ④ ワークショップでは、会場でディスカッションとまとめの作業のグループワークを行う
- ⑤ グループごとに発表し質疑、講評を受ける

対象者

- 日本医科大学、日本獣医生命科学大学、東京理科大学、早稲田大学に所属する准教授、講師、助教、ポストドクター、大学院生
- アンファー株式会社に所属する研究者

スケジュール

参加募集期間	2023年9月11日(月)~9月29日(金)
選考結果とグループ通知	2023年10月10日(火)
共同研究テーマの検討期間	2023年10月10日(火)~10月27日(金)
共同研究テーマ通知	2023年10月31日(火)
ワークショップ準備期間	2023年10月31日(火)~11月28日(火)
ワークショップ	2023年11月29日(水) 16:00~19:00

第4回 女性・若手研究者キャリアデザインプロジェクトメンバー表

お名前は五十音順、●が付いた方はグループリーダーです。

Group	氏名	所属	部門、教室等	職位	専門研究分野
1	江草 愛	日本獣医生命科学大学	食品機能化学教室	准教授	畜産物利用学
1	●前田 友香	日本獣医生命科学大学	動物栄養学教室	助教	家畜栄養学
1	梁井 香那子	日本医科大学	内分泌代謝・腎臓内科学分野	大学院生	内分泌代謝・腎臓内科学分野
1	若林 あや子	日本医科大学	微生物学・免疫学教室	講師	免疫学
2	石田 裕己	アンファ-株式会社	研究開発本部	社員	ホスト-ゲスト化学
2	●石橋 真理子	日本医科大学	微生物学・免疫学	講師	免疫学 (腫瘍免疫)、分子腫瘍学、分子生物学、造血器腫瘍(現在はの研究テーマは多発性骨髄腫)、ウイルス学 (大学院時はC型肝炎ウイルスと肝細胞癌)
2	反町 優理子	早稲田大学	分子病態医化学/合田研究室	学振特別研究員 (博士課程3年)	血液学・幹細胞学
2	藤原 めぐみ	日本医科大学	形態解析研究室	助教	エネルギー代謝、運動機能評価
3	中嶋 亘	日本医科大学	先端医学研究所遺伝子制御学部門	講師	分子生物学
3	西田 奈央	早稲田大学	高等研究所	講師	がん生物学
3	●福泉 彩	日本医科大学	呼吸器内科学部門	助教	呼吸器内科学
3	森下 雅子	アンファ-株式会社	研究開発部	一般社員	形成外科・抗加齢予防医学講座
4	井関 ゆう子	日本医科大学	アレルギー-膠原病内科	講師	膠原病内科
4	市川 智子	日本医科大学	女性診療科産科	助教	生殖内分泌
4	内山 翔太郎	日本医科大学	精神医学教室	助教	精神科
4	●遠田 悦子	日本医科大学	解析人体病理学	講師	免疫、病理、細胞生物学、創薬
4	長田 康孝	アンファ-株式会社	研究開発本部	本部長	免疫
5	浅田 李佳子	日本獣医生命科学大学	獣医放射線学教室(獣医臨床神経学)	ポストドクター	獣医神経病学
5	數阪 広子	日本医科大学	内分泌外科	大学院生	内分泌外科
5	相馬 ミカ	日本医科大学	解剖学・神経生物学	ポストドクター	神経科学
5	田中 祥代	日本獣医生命科学大学	獣医外科学研究室	ポストドクター	獣医外科学 内分泌学 循環器学
5	●松本 有紀子	日本医科大学	精神神経科	講師	精神医学、認知神経科学